

(陳受22第35号)

ドッグラン開設に関する陳情

受理年月日

平成22年11月29日

陳情者

八幡町4 - 10 - 9
武蔵野ワンワンパトロール隊
代表 森安 裕 ほか4,788名

陳情の要旨

近年、核家族の増加に従って「ペットと暮らすライフスタイル」が一般的になり、中でも、犬と暮らす市民が社会的にも広く認知されるようになりました。ちなみに、現在、全国で約1,200万頭、武蔵野市だけでも1万頭の犬が飼われていると推測され、市内、全7万世帯において、7世帯につき1頭の犬が飼われていると推定されています。特に、子どものいない家庭、高齢の方の家庭では、犬は家族の一員として、欠くことのできない存在となっているのが実情です。しかし、一方では、犬の嫌いな方もいらっしゃいます。また、犬を飼うに当たってのマナー、ルールを心得ない飼い主がいることも事実であり、さまざまなトラブルも散見されています。このような問題の解決策として、各地で多くの自治体によって「ドッグラン」が開設されていますが、この施設は愛犬をノーリード（引綱をつけない）で遊ばせることのできる愛犬家にとって喜ばしい場所であると同時に、犬の嫌いな方や、もろもろの方々にとっても以下のようなメリットが存在する場所になっています。

愛犬家と犬の嫌いな方との間で、公園利用に関してのすみ分けを行える。問題のある飼い主に犬を飼うに当たってのマナー、ルールを徹底させる場所にてできる（「ドッグラン」を利用するに当たっては、予防注射をする、ふんの後始末をする等のルールを厳守することが大前提です。ルールを守らない飼い主に対する指導は、文書等を配布する程度の方策では徹底できません。「ドッグラン」のような犬が集まる現場におけるコミュニケーションを通じての啓発活動が最も効果的と考えます。）。子どもたち、孤独なお年寄り、住宅事情で犬を飼えない方などの近隣の方々に「ドッグラン」を開放し犬を介しての交流の場をつくる。アニマルセラピーなど、犬たちや愛犬家の皆さんが社会貢献の活動を行うための情報の発信基地としての役割を担う。

現在、武蔵野市においては、平成19年5月より武蔵川公園ドッグランが開設され、武蔵野市役所都市整備部緑化環境センターを中心に、武蔵野ワンワンパトロール隊も協力しながら運営されております。このドッグランは武蔵川公園近隣の住民の方々にはしばしば利用されておりますが、あいにく、武蔵野市西部、小金井市との境界にあり、市の中心部より離れているため、使いづらい面もあり、利用者の数はふえておりません。

つきましては、多くの市民が毎日の犬との散歩に利用する、武蔵野市役所周辺地区における「ドッグラン」の開設を要望いたします。